

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 12月 28日

【評価実施概要】

事業所番号	0174100768		
法人名	有限会社おおいし		
事業所名	グループホームくつろぎ		
所在地	釧路市愛国西2丁目7番10号 (電話) 0154-39-0506		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年12月3日	評価確定日	平成19年12月28日

【情報提供票より】(19年10月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 17年 9月 2日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 16人, 非常勤 1人, 常勤換算 9.2人	

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(85,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(10月 31日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	7	要介護2	6
要介護3	3	要介護4	2
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 86.5 歳	最低 67 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	さい内科クリニック・島津歯科医院・大久保歯科医院
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所はホーム長をはじめ全職員が一丸となってセンター方式を学び、ケアサービスの質の向上に努め、利用者の落ち着いた生活への支援を実践している。地域の活動に積極的に参加したり事業所の行事の広告を地域へ配布するなど、地域との交流を深める取り組みを行っている。今後も運営推進会議の場を活用し、地域からの事業所への理解をより一層深め、地域に溶け込んだ生活の継続が期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題について、職員が一丸となって日々のケアサービスに努め、改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ホーム長・管理者・一部の職員で話し合い、自己評価に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	町内会副会長・民生委員・地域包括支援センター職員等を構成員とし、運営推進会議を開催した。会議では行事等の報告を行い、意見交換を行っている。今後、会議開催を重ね、地域に事業所への理解を深める働きかけが期待される。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の来訪時や電話連絡時に職員は家族の意見・要望等を聞き、事業所の運営に活かしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の活動に参加したり畑作業を近隣住民と一緒にするなど、地域との連携を図っている。また、散歩や買い物の際に日常的に挨拶を交わすなど地域との交流を深めており、より一層地域に根ざした暮らしの実現が期待される。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「明るく、楽しく、元気に」という事業所独自の理念をつくりあげている。	○	地域密着型サービスを盛り込んだ理念をつくりあげてを現在再検討中のため、改めて理念をつくりあげることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員間で理念を共有しながら、日々のケアサービスにおいてその実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、地域の活動に参加したり事業所の行事広告を近隣住民に配布するなど、地域との連携を図っている。また、近隣中学校の生徒が事業所駐車場の壁に絵を描くなど、交流が深まりつつある。	○	今後も地域との交流を深める取り組みを継続し、事業所への理解が深まるよう働きかけることが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム長・管理者・一部の職員で話し合い、自己評価に取り組んでいるが、全職員で行うまでには至っていない。	○	今後、会議等において全職員で評価の意義を再確認し、話し合いながら自己評価に取り組むことが期待される。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内会副会長・民生委員・地域包括支援センター職員を構成員とし、運営推進会議を開催している。会議では事業所の行事等について報告し、意見交換を行っている。</p>	○	<p>今後利用者家族にも会議参加を呼びかけることが期待される。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者と日常的に連絡を取っており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月事業所便り・個人記録・小遣い帳のコピーを家族に送付し、利用者の暮らしぶりや健康状態等を報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所の玄関に意見箱を設置し、家族が意見・要望等を伝えやすい工夫をしている。また、家族の来訪時や電話連絡時に家族意見等を聞き、事業所の運営に活かしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動・離職等があった場合は職員配置等に配慮し、利用者にダメージを与えないよう努めている。また、新規職員採用の際は事業所便りで家族に報告している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全職員がグループホーム協議会の交換研修に参加している。また、他の外部研修に参加する機会もあり、職員は積極的に受講している。さらに、資格を取得する機会も確保されている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所との交換研修・相互見学・会議等を通じて同業者と交流し、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に利用者家族に事業所を見学してもらい、顔馴染みになるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者の生活歴を把握し、料理・洗濯物たたみ・掃除など一人ひとりの得意なことを教えてもらいながら一緒に行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントシートを活用し、買い物・運動・外出・調理など、一人ひとりの希望に合わせて支援している。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月に1度のフロア会議や2ヶ月に1度の全体会議で話し合い、利用者本人・家族の意見を取り入れた介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度見直しを行い、利用者の状況変化に応じてそのつど話し合い、介護計画を作成している。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院の送迎や買い物の付き添いなど、利用者本人・家族の状況に応じた柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者それぞれのかかりつけ医への受診支援を行っている。また、月に2回訪問看護や訪問歯科による往診があるなど、適切な医療を受けられるよう支援している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	月に2回訪問看護ステーションによる往診があり、利用者の健康状態について相談が可能であるが、重度化・終末期に向けての方針を定めるまでには至っていない。	○	今後、利用者本人・家族・医師等を交え、重度化・終末期に向けての方針について早急に話し合うことが期待される。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は利用者の誇りを大切にした声かけや対応を心がけている。また、個人情報の取り扱いにも配慮し、適切に対応している。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	センター方式の介護計画を作成して職員間で情報を共有し、一人ひとりの希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に献立を作成し、買い物・食事の準備・後片付けなど、一人ひとりの力量に応じた役割が持てるよう支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日・時間帯など、一人ひとりの希望に応じて週に2回以上の入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事・散歩・園芸など、一人ひとりの希望や好みに合わせた楽しみごとや役割の支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・自宅への一時帰宅など、利用者の希望に応じた外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関ドアの開閉には壁に設置されたタッチパネルが使用されており、利用者全員が自由にドアを開閉して外出するまでには至っていない。	○	今後、利用者の意向を妨げない工夫が期待される。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	警備会社協力の下、年に2回夜間帯を想定した避難訓練を実施している。また、職員は救急蘇生法の講習も受講している。	○	今後は消防署や地域住民にも緊急時の協力が得られるような働きかけが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	職員は利用者の食事・水分摂取量を確認し、一人ひとりの健康状態に応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	共用空間には植物が置かれ季節に合わせた装飾をするなど、季節感や生活感を感じられるよう工夫している。また、音・光にも配慮しており、利用者が居心地良く過ごせるような空間となっている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具や仏壇などが持ち込まれており、本人が安心して過ごせるよう工夫している。		

 は、重点項目。